

## 題　　言

### 年寒くして名士逝く

淋しさは人の心の秋のみかは、先に濱口前首相相逝き、次いで仙石前鐵相逝き、近く我國の經濟神と仰がる、澁澤榮一翁もまた逝きぬ。昭和六年の日本の淋しき事よ。

濱口氏も、仙石氏も、澁澤氏も皆夫々に我國に於ける柱石の一つであつた。其肉は朽ち去るとも其靈は必ずや萬代に残つて我々の國を繁榮に守護するであらう。

我々は、今日此等大先輩の力強き足跡を眺めて、我々が今日に處する力の弱さをそゝろに痛感する

### 仙石貢博士追悼の言

讀書研究に努め、科學的常識の發達し、而して總ての事物に對し眞實以外の何物にも顧慮する事のなかつた我が仙石貢博士は技術人として當代稀なる傑物であつた。

今此の巨人を亡ふて我等は國家の爲に痛惜に堪えない、忽忙の際ながら故博士の同僚知友より追憶の言を得て、敢て仙石貢博士追悼號と題する所以である。

### 上越線と清水隧道の記録

昭和六年の工事界を記念すべき、鐵道省の上越線は去る十月を以て目出度く開通した。特に本線内に東洋第一の清水隧道工事を含むが故に、我國工事界に重大なる記念を残す事となつたのである。

第一は日本に於て此長隧道を開鑿するに決したる當時の技術家の決斷力に對して先づ大なる敬意を拂はねばならぬ。

第二は愈々工事の施行に當つては幾多の青年技術家が、眞の工事現場に直面して、眞に其腕を磨いた事である。

第三は工事用機械力の利用に於て殆んど現

代の最善を盡したる事である。

要するに清水隧道工事は、我國に於ける機械利用の大工事として一大試練を與へたものであつて、之が因をなして他の幾多の工事に非常なる進歩と刺戟を與へたものである。

既に數回の報導をなしたる後、今爰に改めて全線工事の概要及び本工事が生みたる、各種の現場研究記録を掲載する事を光榮とするものである。

### 異彩ある二大工事

日銀の工事も、満鐵埠頭工事も、一は地上に、一は海上に建ち、而して兩工事とも既に斯界の代表的工事として注目せられつゝあつたが、幸ひ今回兩模範工事を併載する事の出來たのは、本年掉尾の異彩である。

○

日本銀行の工事は秘密一點張りの閉鎖工事である。其所には有ゆる文明の化學的利器を應用し、工事は模範的の最新技術の権化とも云ふべきであるが、其全般は容易に知るべくもない。本號に載する處は長野博士及び工事擔當各技師の好意により部分的乍ら其工事の一端を傳ふる事が出來たもので、本誌の光榮とするものである。

○

川崎市の満鐵埠頭工事は解放的なる明快其ものである。之は監督者たる満鐵技術部と設計者たる丹羽土木事務所と、請負者たる大倉土木會社との三者が紳士的理解の下に各其責任を正守せるが爲であらう。

臨海工事は多く水中の施工にして豫想外の困難に遭遇する事がある。従つて從來斯の如き海の大工事は多くは直營工事として施行されたものであつた。然るに今回之が請負工事として實施せられる事は、我工事界的一大進歩と云はねばならぬ。